

形と跡

Shape and Trace

范 叔如

FAN Shuru

2025年10月08日(水) - 10月18日(土)

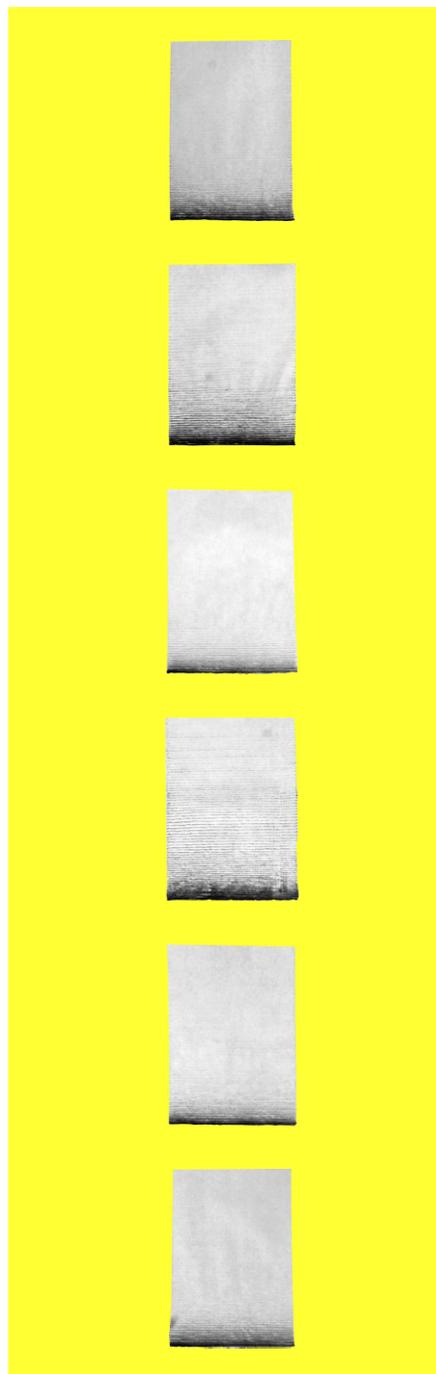
pm 12-7

OPEN 水・木・金・土曜

| 展示作品 |

インスタレーション

紙、墨、煤、絹、ガラス 他



范 叔如による「形と跡」を開催します。

本展では長年に渡り、水墨画を描いてきた范 叔如の新作をご覧ください。

范 叔如は、本展でどんな『形と跡』を見せてくれるでしょうか。

作家の今をご高覧いただければ幸いです。

(+1art)



《煙》煤、絹 55x225cm 2025

水墨は古いものだ。そして水墨の「近代化」の試みや「現代的」水墨の創出も百年近く行ってきた。様々な表現が現れてきたが、それらはもはや一つの文化的概念としての「水墨」から離れてしまっている。「水墨」を保てば現代的な表現になれず、新たな方法論を用いて表現を革新させれば「水墨」でなくなる、というパラドックスが生じている。作家は長年「水墨」について考え制作を行ってきたが、それに正面から向き合うことにも躊躇していた。一度「水墨」の原点に戻り、その原初の形と跡を探りつつもありのままに再現するものは、今回の試みだ。

漆 麟(鳥取大学准教授)

范
叔
如

FAN Shuru



初期から中期にかけては、主にインスタレーションや絵画作品を制作していました。幼少期から水墨文化に深く影響を受け、自身の環境の変化と、再び水墨画という分野に目を向けるようになりました。探求と実験を重ねる中で、時折、水墨を用いた作品制作にも挑戦しました。近年になって、水墨画の根源的な要素をさらに探求し、掘り下げていく中で、本展の構想が生まれました。

(范 叔如)

1960 中国南通生まれ
1988 南京師範大学大学院修士課程修了
1993 来日、広島・中国で活動し続ける

主な個展

2015 「線・誌」北京公社画廊(北京)
2010 「Land in Hiroshima」ギャラリーSPACE ZERO(広島)
2009 「白風景」ディズニーランド計画」山口県立美術館(山口)
2008 「白い風景」YICA山口現代芸術研究所 木町(山口)
2008 「Searching for Art Paradise」草場地画廊(北京)
2002 「沈浮」-アクティヴ・イン・ヒロシマ2002-広島市現代美術館(広島)
1992 「92'絵画作品展」中央美術学院画廊(北京)

主なグループ展

2025 「シワワタス:さようなら旧市庁舎プロジェクト」(山口)
2024 YICAアートウィークス2024「今ここ一近いは遠い、遠いは近い」Vol. 3 存在の稠密さ」
菜香亭(山口)同2021、2016、2012
2024 「広島芸術学会展」広島県美術館(広島)同2021、2019、2017
2023 「Hiroshima Art Document2023」半べえ庭園茶室(広島)同2019、2018、2013、2006
2018 「YICA「山口盆地考—吹き来る風が」中原中也記念館(山口)
2016 「中国当代芸術年鑑展2016」(北京)
2010 「GAW展 路地から路地へ」西脇(兵庫)
2010 「Beyond the Wall-アートで、超える。」1 2 秋吉台国際芸術村(山口)
2008 「An Artist's Archeological Survey in Daning」「Intrude: Art Life 366」
上海証大現代美術館(上海)
2005 「Artom60」展 旧日本銀行広島支店(広島)
2005 「我孫子国際野外美術展」(千葉)
2005 「GAW5展 路地から路地へ」新宿(東京)
2003 「MADE IN JAPAN」展 旧日本銀行広島支店(広島)
2002 「立川国際芸術際」(立川)
2001 「現代作家の眼 クロスオーバー10」県総合文化センター(岡山)
2000 「GAW展 路地から路地へ」パートII」沖家室島(山口)
1993 第3回「広島美術」広島市現代美術館奨励賞(広島)同4、5、7 回入選
1989 「第1回中国現代芸術展」中国美術館(北京)

受賞

2008 第62回「山口県美術展」大賞 山口県立美術館
2003 第8回公募「広島美術」大賞 広島市現代美術館

パブリックコレクション

2012 『無題』1989上海余德耀美術館収蔵
2004 『如何向仙人解釋現代化』、『USER108』1993広島市現代美術館収蔵